
ASIAN WOMEN'S FUND NEWS no.3

1/19/1996

財団法人 女性のためのアジア平和国民基金(アジア女性基金)事務局

◎郵便振替口座:00180-3-71164 ◎電話:03-3583-9346

フィリピン、台湾へ対話チーム送る

アジア女性基金は、対話チームを1月22日から25日フィリピンへ、また1月24日から27日台湾へ送ることになりました。韓国への対話チーム派遣の日程は現在、検討中です。

フィリピン訪問チームのメンバーは有馬真喜子副理事長と林陽子運営審議会委員、台湾は下村満子理事と中嶋滋運営審議会委員。事務局員が随行します。

この対話チームは、当地の当事者団体、支援団体や政府関係者との面談を行い、①アジア女性基金としてのあいさつと事業の説明、②団体関係者から基金と事業への意見、要望をうかがうことを主目的としています。

1月12日、募金総額1億3500万円。免税措置も始まる

アジア女性基金への寄付は、1月12日の集計で、総額1億3499万0889円に達しました。

基金は昨年12月8日、財団法人の許可が下りました。続いて政府に申請していた寄付金に対する免税措置が認められ、同月25日『官報』に「指定寄付」の告示がなされました。これによってアジア女性基金への寄付金は、法人はもちろん、個人の方でも確定申告の際、所得控除を受けることができるようになりました。(くわしくは事務局にお問い合わせください。)

「女性のためのアジア議員連盟」が発足

与党戦後50年問題プロジェクト3座長である虎島和夫(自民)・上原康助(社会)・荒井聡(さきがけ)各議員が発起人となって呼びかけた議員懇が12月22日、「女性のためのアジア議員連盟」として発足しました。目的は、(1)アジア地域における女性の地位の向上や男女格差の是正を促進するような活動への支援、(2)財団法人女性のためのアジア平和国民基金活動への支援。入会した国会議員は同日現在、40人となっています。

当初加入の議員は次のとおり(=敬称略)。

◎役員

▽会長 三塚博 ▽副会長 虎島和夫 上原康助 荒井聡 ▽幹事長 武部勤 ▽副幹事長(若干名)

▽事務局長 荒井広幸

◎衆議院 ▽自民党 三塚博 中川秀直 河村健夫 福田康夫 野田聖子 松岡勝利 竹内黎一 森喜朗

虎島和夫 荒井広幸 浜田靖一 武部勤 蓮見進 桜井新 安倍晋三 住博司 ▽社会党 上原康助

五十嵐広三 佐々木秀典 大島章宏 ▽さきがけ 荒井聡 三原朝彦 鳩山由紀夫 田中甲 築瀬進=25人

◎参議院 ▽自民党 狩野安 金田勝年 石井道子 清水嘉与子 武見敬三 亀谷博昭

▽社会党 峰崎直樹 角田義一 日下部嬉代子 山本正和 今井澄 三重野栄子 竹村泰子 大淵絹子

清水澄子=15人

寄付して下さった方々からの振替用紙「通信欄」に書かれたメッセージです。

○…戦中、私はまだ子供でしたが、後に「従軍慰安婦」の存在を知り、この犠牲になった女性たちの悔しさを察して、このような非道な策を実行した日本軍隊に対する怒りで身が震えました。この罪の償いは日本人一人一人が果たすべきものと考えます。その具体的な行動の一つとしてこの募金の意義を認めます。(広島市・男性)

○…Tフォーラムで勉強させていただいております。(東京中野区・女性)

○…日本軍慰安婦への補償は国がすべきだと思います。(中津川市・女性)

ます。(中津川市・女性)

○…少しばかりですが、趣旨に賛同いたしましたので、寄付させていただきました。民間レベルだけの補償でなく政府レベルでの補償ができるよう希望しています。(前原市・女性)

○…ご苦勞様です。受領証などくださらなくて結構です。(横浜市・男性)

○…道新(=北海道新聞)の広告を見て。(札幌市・女性)

○…元「従軍慰安婦」の方々のために、少しずつでも、自分のできることから始めたいと思います。がんばってください。(横浜市・男性)

元「従軍慰安婦」・活動グループとの接触すすめる

アジア女性基金は昨年中に、つぎの各グループの訪問により、各種の「申し入れ」を受けてきました。それぞれ原理事長、横田運営審議会委員長、事務局長などがお会いし、ほかに数通、ファクスなどでの申し入れもありました。声明その他については、アジア女性基金から返書も出しています。

▽強制軍隊慰安婦協議会・ハルモニたちとともに歩む会=面談、申し入れ▽挺身隊問題対策協議会=声明受領▽「従軍慰安婦」被害者の会・ハルモニたちを支える会=面談、申し入れ▽平和と生活をむすぶ会=面談、申し入れ▽太平洋戦争犠牲者遺族会・日本の戦後責任をハッキリさせる会=面談、申し入れ

アジア女性基金の歩み

●—1995年

- 6月14日 五十嵐官房長官、女性のためのアジア平和国民基金の事業、政府の取り組み、「呼びかけ人」名簿を発表
- 7月18日 呼びかけ人の「よびかけ文」、村山総理「ごあいさつ」発表
- 7月19日 女性のためのアジア平和国民基金が発足、東京都港区赤坂に事務所開設
- 7月27日 原文兵衛前参議院議長、理事長に選任
- 8月1日 設立の集い(東篠会館)
- 8月11日 政府、アジア女性基金の事業に協力する旨、閣議了解
- 8月15日 新聞などで呼びかけを行い、募金活動開始
- 9月22日 募金総額5000万円を突破
- 10月19日 大阪「平和・人権センター」の集いに下村理事が出席
- 11月10日 前後に中央紙・ブロック紙・地方紙に「呼びかけ」を掲載
- 11月27日 日本記者クラブ主催記者会見にアジア女性基金原理事長、平林外政審議室長らが出席
- 12月6日 募金総額1億円を突破
- 12月8日 女性のためのアジア平和国民基金に財団法人許可(総理府・外務省=共管)
日本外国特派員協会「昼食会」に呼びかけ人の大鷹・衛藤・大沼氏らが出席
- 12月16日 山形シンポジウム「アジア女性基金を考える」に大鷹・三木・大沼氏が出席
- 12月25日 アジア女性基金への寄付が指定寄付金等(所得の控除)に指定される(官報告示)

◎集会、勉強会などに、アジア女性基金関係者がうかがい、お話しさせていただきます。趣旨、日程などを伝えていただき、詳細は基金事務局にお問い合わせください。

ASIAN WOMEN'S FUND NEWS no.3

1/19/1996

財団法人 女性のためのアジア平和国民基金(アジア女性基金)事務局

◎郵便振替口座:00180-3-71164 ◎電話:03-3583-9346

広報、マスコミ取材つづく

アジア女性基金の広報は、政府の広報番組、マスコミ取材に応じるなどして行っています。最近の広報、取材はつぎのとおりです。

○テレビ神奈川(UHF) 1月19日20時—22時の外務省提供番組の中で20時44分から10分程度放映の予定。有馬副理事長インタビュー。

○静岡放送ラジオ 外務省広報、1月21日9時30分—10時放送。有馬副理事長。

○ロイター・テレビ取材 ニュース・フィーチャー配信、1月19日13時30分より録画、下村理事インタビュー。

○APテレビ取材 配信企画ニュース、1月23日10時30分より、基金事務所で録画予定。山口理事インタビュー。

2月2-3週に全5段新聞広告

アジア女性基金は、財団法人許可、「指定寄付」による免税措置ができるようになった機会に合わせ、2月2週から3週にかけて募金の新聞広告を掲載します。

全5段のスペースで順次、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、日本経済新聞に出稿する予定。広告内容でとくに強調することは、「募金は郵便振替で」「郵便振替口座；00180-3-71164」「当基金への寄付金には免税措置」とします。

また、雑誌広告も実施、3月に月刊誌、週刊誌などに出稿する予定です。

中学生などの問い合わせいろいろ

都道府県庁や労組から、問い合わせの電話がよくかかります。いつ、いくら償いを渡すのか。今日的な女性問題とはなにか。「従軍慰安婦」にされた人数は。……職域での募金を通じて、「従軍慰安婦」問題への関心が広まっていることも事実です。それぞれ、事務局で対応しています。

ゼミの課題にしたい、「従軍慰安婦」問題について聞きに行きたいという大学院生には資料を手渡し。

グループで「従軍慰安婦」問題をまとめているので「質問があります」と電話をして、訪ねてきた都内の中学生3人。この中学校の女子生徒たちは、話を聞いたあと質問をしながら涙ぐんだりし、真剣に受け止め精一杯、考えようとしていることがわかりました。